

有数の産地 「こだますいか」の出荷が始まります

桜川市と筑西市は、約50年前から続く国内有数のこだますいかの産地です。

両市産のこだますいかは、冷蔵庫に丸ごと入る手ごろなサイズで取り扱いやすく、果皮が薄い上に味が濃厚です。3月から8月まで出荷されています。

こだますいかに、抗酸化作用が期待されるリコピンや、むくみ防止、腎機能健全化に効果の高いカリウムが含まれています。



こだますいかの日を制定しました

平成29年1月、桜川市・筑西市・北つくば農協地域農業振興協議会では、こだますいか収穫盛期を迎える二十四節気の立夏（平成29年は5月5日）を「こだますいかの日」と制定しました。

「初夏の味」こだますいかをぜひ味わってみてください。
■問合先／ 県西農林事務所 経営・普及部門（☎0296-24-9218）

年長さんご紹介

楽しかったよ！節分の豆まき

「鬼は〜そと〜、福は〜うち〜」と、子どもたちは幼稚園で、自分の心の中にある泣き虫鬼や、怒りん坊鬼などの弱い鬼を追い払いました。その後、富谷観音の節分祭に参加し、これから始まる新しい一年が、不幸や災いのない一年になりますようにとお願いしました。最後にみんなで、心の優しい鬼さんと記念撮影をしました。

幼保連携型認定こども園 星の宮幼稚園 きりん組



人口と世帯

住民基本台帳 2月1日現在

【男】	21,565人	(- 39)
【女】	22,001人	(- 38)
【計】	43,566人	(- 77)
【世帯】	15,310世帯	(- 7)

() は対前月増減



【表紙】

2月15日に羽黒小6年生41人が参加して、地元名産の白みかげ石を使った石彫り体験授業が、岩瀬オータリークラブ（あきやまのぼる 秋山昇会長）の協力で行われました。彫刻家で講師を務めたあさがまさし 浅賀正治氏が、石を彫る時の心構えや技術を児童たちに伝授。児童たちは、かなづち 金槌などを使って真剣な眼差しで制作に取り組みました。制作した作品は、想い出の品として卒業式で並べられます。